

日本看護協会認定看護管理者教育機関

令和7年度 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル

募集要項

★申込はWEB限定
★必要書類は郵送

□ ファーストレベル 開講期間

第1回

令和7年 5月 20日(火)～ 6月 25日(水)

第2回

令和7年 7月 15日(火)～ 8月 27日(水)

第3回

令和7年 11月 18日(火)～12月 24日(水)

(上記各日程のうち 20日間程度)

□ セカンドレベル 開講期間

令和7年 8月 28日(木)～11月 14日(金)

(上記日程のうち 38日間程度)

□ サードレベル 開講期間

令和7年 6月 12日(木)～10月 10日(金)

(上記日程のうち 38日間程度)

＜教育理念＞

多様なヘルスケアニーズを持つ個人・家族及び地域住民に対して、質の高い看護サービスを提供することをめざし、様々な状況に対応できる看護管理者を育成する。以って、看護の水準の維持及び向上に寄与し、保健医療福祉に貢献する。

✔ ファーストレベル

＜教育目的＞

看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

＜到達目標＞

- ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
- 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
- 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

＜受講要件＞

- 日本国の看護師免許を有する者。
- 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。
- 管理業務に関心がある者。

＜教育課程＞ ()日本看護協会規定時間

✔ セカンドレベル

＜教育目的＞

看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

＜到達目標＞

- 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。
- 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

＜受講要件＞

- 日本国の看護師免許を有する者。
- 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。
- 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。
※副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す。

＜教育課程＞ ()日本看護協会規定時間

✔ サードレベル

＜教育目的＞

多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

＜到達目標＞

- 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考察することができる。
- 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。
- 経営管理の視点に立ったマネジメントを展開できる。

＜受講要件＞

- 日本国の看護師免許を有する者。
- 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。
- 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。

＜教育課程＞ ()日本看護協会規定時間

教科目(時間)	単元	教科目(時間)	単元	教科目(時間)	単元
ヘルスケアシステム論Ⅰ 15(15)	1) 社会保障制度概論 2) 保健医療福祉サービスの提供体制 3) ヘルスケアサービスにおける看護の役割	ヘルスケアシステム論Ⅱ 15(15)	1) 社会保障制度の現状と課題 2) 保健医療福祉サービスの現状と課題 3) ヘルスケアサービスにおける多職種連携	ヘルスケアシステム論Ⅲ 33(30)	1) 社会保障制度・政策の動向 2) 看護制度・政策の動向 3) ヘルスケアサービスの創造
組織管理論Ⅰ 15(15)	1) 組織マネジメント概論 2) 看護実践における倫理	組織管理論Ⅱ 36(30)	1) 組織マネジメントの実際 2) 看護管理における倫理	組織管理論Ⅲ 36(30)	1) 組織デザインと組織運営 2) 組織における倫理
人材管理Ⅰ 30(30)	1) 労務管理の基礎知識 2) 看護チームのマネジメント 3) 人材育成の基礎知識	人材管理Ⅱ 45(45)	1) 人事・労務管理 2) 多職種チームのマネジメント 3) 人材を育てるマネジメント	人材管理Ⅲ 15(15)	1) 社会システムと労務管理 2) 看護管理者の育成
資源管理Ⅰ 15(15)	1) 経営資源と管理の基礎知識 2) 看護実践における情報管理	資源管理Ⅱ 15(15)	1) 経営資源と管理の実際 2) 看護管理における情報管理	資源管理Ⅲ 30(30)	1) 経営戦略 2) 財務管理 3) 組織的情報管理
質管理Ⅰ 15(15)	1) 看護サービスの質管理	質管理Ⅱ 30(30)	1) 看護サービスの質保証 2) 安全管理	質管理Ⅲ 30(30)	1) 経営と質管理 2) 組織の安全管理
統合演習Ⅰ 15(15)	1) 演習	統合演習Ⅱ 51(45)	1) 演習 2) 実習	統合演習Ⅲ 48(45)	1) 演習 2) 実習
計 105		計 192		計 192	

＜修了要件＞

認定看護管理者カリキュラム基準に定める全教科目の修得をもって認定看護管理者教育課程の修了とする。

教科目の修了とは、以下の項目を満たした場合をいう。

- 各教科目の所定の時間数の4/5以上出席していること。
- 各教科目のレポート評価がC以上(A・B・C・Dの4段階)であること。
A:80点~100点、B:70点~79点、C:60点~69点、D:59点以下

〈認定看護管理者教育課程について〉

認定看護管理者とは「日本看護協会認定看護管理者認定審査に合格し、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を有すると認められた者」をいいます。日本看護協会では、認定看護管理者に必要な教育課程を、ファーストレベル、セカンドレベル及びサードレベルの3課程と定めています。

〈募集概要〉 ※日程については現在調整中のため、変更になることがあります。

期 間	<p>✔ ファーストレベル開催期間</p> <p>【第1回】 令和7年 5月 20日(火) ～ 6月 25日(水)</p> <p>【第2回】 令和7年 7月 15日(火) ～ 8月 27日(水)</p> <p>【第3回】 令和7年 11月 18日(火) ～12月 24日(水) 上記各日程のうち 20日間程度</p>	<p>✔ セカンドレベル開催期間</p> <p>令和7年 8月 28日(木) ～ 11月 14日(金) 上記日程のうち 38日間程度</p>	<p>✔ サードレベル開催期間</p> <p>令和7年 6月 12日(木) ～ 10月 10日(金) 上記日程のうち 38日間程度</p>
	※日程の詳細は、受講決定の際にお知らせいたします。		
	<p>✔ 申込期間(単回申込のみ可)</p> <p>第1回 / 第2回 / 第3回 令和7年 1月 24日(金) ～ 2月 13日(木)</p>	<p>申込期間</p> <p>令和7年 1月 24日(金) ～ 2月 13日(木)</p>	<p>✔ 申込期間</p> <p>令和7年 1月 24日(金) ～ 2月 13日(木)</p>
	※ ●申込は Web で ●必要書類は郵送、いずれも申込期間内に 申込完了・書類必着のこと		
定 員	<p>✔ 受講決定 3月下旬頃</p> <p style="text-align: center;">各 80名</p>	<p>✔ 受講決定 3月下旬頃</p> <p style="text-align: center;">70名</p>	<p>✔ 受講決定 3月下旬頃</p> <p style="text-align: center;">30名</p>
	<p>✔ 受講決定 3月下旬頃</p> <p style="text-align: center;">各 80名</p>	<p>✔ 受講決定 3月下旬頃</p> <p style="text-align: center;">70名</p>	<p>✔ 受講決定 3月下旬頃</p> <p style="text-align: center;">30名</p>
受 講 料	<p><第1回/第2回/第3回></p> <p>日本看護協会 会員 121,000円 日本看護協会 非会員 242,000円 (レポート審査料を含む・税込)</p>	<p>日本看護協会 会員 223,300円 日本看護協会 非会員 446,600円 (レポート審査料を含む・税込)</p>	<p>日本看護協会 会員 288,200円 日本看護協会 非会員 576,400円 (レポート審査料を含む・税込)</p>
	<p><受講修了後></p> <p>修了証明申請料 16,500円 (税込)</p>	<p><受講修了後></p> <p>修了証明申請料 16,500円 (税込)</p>	<p><受講修了後></p> <p>修了証明申請料 16,500円 (税込)</p>
提 出 書 類	<p>1.受講動機と課題</p> <p>2.受講要件証明書【様式9】</p> <p>3.返信用封筒▶レターパックライト(青) (返信先を記載しご依頼主様保管用シールをはがしてください)</p>	<p>1.小論文</p> <p>2.受講要件証明書【様式9】</p> <p>3.受講要件確認の書類 (①・②のうちどちらか1つ)</p> <p>①ファーストレベル修了証明書の コピー または</p> <p>②勤務証明書【様式8】</p> <p>4. 返信用封筒▶レターパックライト(青) (返信先を記載しご依頼主様保管用シールをはがしてください)</p>	<p>1.小論文</p> <p>2.受講要件証明書【様式9】</p> <p>3.受講要件確認の書類 (①・②のうちどちらか1つ)</p> <p>①セカンドレベル修了証明書の コピー または</p> <p>②勤務証明書【様式8】</p> <p>4. 返信用封筒▶レターパックライト (青) (返信先を記載しご依頼主様保管用シールをはがしてください)</p>

「勤務証明書(様式8)」「受講要件証明書(様式9)」「受講辞退届(様式10)」は東京都看護協会のホームページからダウンロードしてください。

<ファーストレベル教育課程>

- 1) 受講動機と課題「自職位を明確にし、受講動機と今後、学びをどのように活かすか」を述べて下さい。
- 2) 書式・作成
 - (1) タイトルは、「受講動機」と記載をしてください。
 - (2) 文字数: 400 字以内(本文のみ) A4用紙 1 枚に記載してください。

<セカンドレベル教育課程>

- 1) 小論文課題「直近 3 年以内にあなたが取り組んだ看護管理実践を 1 つ取り上げ、自職位の立場を明確にした上で看護管理のプロセスに沿って記述し考察して下さい。」
その際、以下の視点から 1 つ選び記述して下さい。

①人材育成 ②多職種との連携 ③看護倫理 ④リスクマネジメント

- 2) 書式・作成
 - (1) 内容を表すタイトルを付けて記述して下さい。
 - (2) 文字数: 1000 字以内(本文のみ、引用文献は文字数には含まない)
※参考文献は不要。引用文献のみ記載し、「本文」+「引用文献」をA4用紙 1 枚に記載して下さい。

<サードレベル教育課程>

- 1) 小論文課題「直近 5 年以内にあなたが取り組んだ看護管理実践を 1 つ取り上げ、自職位の立場を明確にした上で看護管理のプロセスに沿って記述し考察して下さい。」
その際、以下の視点から 1 つ選び記述して下さい。

①経営への参画 ②人材育成/キャリア開発 ③地域連携 ④リスクマネジメント

- 2) 書式・作成
 - (1) 内容を表すタイトルを付けて記述して下さい。
 - (2) 文字数: 1000 字以内(本文のみ、引用文献は文字数には含まない)
※参考文献は不要。引用文献のみ記載し、「本文」+「引用文献」をA4用紙 1 枚に記載して下さい。

【記載例】

<三課程共通>

- 書式: ●A4用紙(縦)に横書き
●横 40 文字×縦 42 行に設定
- 書体: ●MS明朝体、10.5 ポイントを使用
●余白は上下左右 20mm
- 1 行目: タイトル
2 行目: 施設名・職位・氏名(右揃え)
3 行目: 本文
- 文末: 文字数を明記
その他: 「である」調で記載のこと

1 行目
2 行目
3 行目から

1 行目 2 行目 3 行目から - 本文 -	タイトル 施設名・職位・氏名
(文字数)	

<ファーストレベル>

- 認定看護管理者教育課程運営・審査委員会において、『受講動機と課題』および『応募書類』による審査を行います。

<受講動機と課題 評価基準>

	項目	評価の視点	配点
1	課題の理解	1)課題を正しく理解している	10点
2	論述力	1)自己の課題や自身の職位に応じた論旨である 2)論点・論旨が明確で具体的である 3)看護経験をふまえて自分の言葉で表現している。	30点
3	記述の適切性	1)規定に沿って記述されている。(書式設定等) 2)誤字・脱字など表記に誤りがない。 3)記述に倫理的配慮がある (個人や組織が特定されない表現である)	10点
合計			50点

<セカンドレベル・サードレベル>

- 認定看護管理者教育課程運営・審査委員会において、小論文(下記評価基準参照)と応募書類による審査を行います。

<小論文 評価基準>

	項目	評価の視点	配点
1	課題の理解	1)小論文の課題(テーマ)を正しく理解している。	10点
2	管理的視点	1)管理の視点で述べている。 2)看護管理の経験を具体的に述べている。	20点
3	論述力	1)テーマや自身の職位に応じた論旨である。 2)論点・論旨が明確で具体的である。 3)自身の言葉で述べられている。 4)語法や言葉の使い方等が適切である。 5)文章が論理的である。	50点
4	記述の適切性	1)規定に沿って記述されている。(書式設定等) 2)誤字・脱字など表記に誤りがない。 3)記述に倫理的配慮がある。	20点
合計			100点

※ 会員・非会員は受講者選考に影響しません。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">申込方法</p>	<p>●お申込みは申込期間内に『Web で申込み』いただき、『提出書類を協会宛に郵送』ください。 ※提出書類は、下記「応募書類チェックリスト」を参照ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Web 申込みは、東京都看護協会ホームページからお申込みください。 ▶トップページ ⇒ (1)看護職の皆様へ ⇒ (2)認定看護管理者教育課程 の順で進み、手続き状況にかかわらず「会員でない方(認定看護管理者研修を申込される方)」からお申込みください。 申込時は非会員価格が表示されますが、令和7年度開始時点で会員手続きが完了されている方には、会員価格が適用となります。 日本看護協会の会員とは、令和7年度の会員手続きが完了している方です。会員は年度毎に手続きが必要となりますので、受講決定前に会員手続きを完了してください。 Web 申込後、必要書類を郵送してください。様式は東京都看護協会ホームページにある『各種ダウンロード』よりダウンロード可能です。 セカンドレベル・サードレベルに申込みされる方の受講要件確認書類は、下記「応募書類チェックリスト」の「3. 受講要件確認の書類」の ①・② のいずれかです。 Web 申込時の個人情報(旧姓になっていないか・住所変更)等、キャリアナース(日本看護協会の会員用サイト)の登録内容を最新の情報に更新してからお申込みください。※Web と書類の内容が一致している事 受講の可否は返信用封筒(レターパックライト(青))で通知しますので、必ず返信先の宛先をご記入ください。 ファーストレベルは単回申込のみ可となります。 		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">郵送先</p>	<ol style="list-style-type: none"> レターパックライトの「品名」欄に朱書きで「〇〇レベル提出書類在中」と明記してください。 書類締切日は、申込期間最終日必着です。 (消印有効ではありませんので、ご注意ください) 	〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号 公益社団法人 東京都看護協会 教育部研修係	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">応募書類チェックリスト</p>	<p>●ファーストレベル</p> <input type="checkbox"/> 1. 受講動機と課題 <input type="checkbox"/> 2. 受講要件証明書【様式9】 <input type="checkbox"/> 3. 返信用封筒▶レターパックライト(青) (返信先を記載しご依頼主様保管用シールをはがしてください)	<p>●セカンドレベル</p> <input type="checkbox"/> 1. 小論文 <input type="checkbox"/> 2. 受講要件証明書【様式9】 <input type="checkbox"/> 3. 受講要件確認の書類 (①・②のいずれか1つ) ①ファーストレベル修了証明書のコピー ②勤務証明書【様式8】	<p>●サードレベル</p> <input type="checkbox"/> 1. 小論文 <input type="checkbox"/> 2. 受講要件証明書【様式9】 <input type="checkbox"/> 3. 受講要件確認の書類 (①・②のいずれか1つ) ①セカンドレベル修了証明書のコピー ②勤務証明書【様式8】
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<ol style="list-style-type: none"> 受講料は期日までに納入してください。尚、納入された受講料は原則として返金いたしません。 受講決定後に、氏名の変更・勤務先の変更があった場合は、研修開始前に必ずご連絡ください。 当協会の個人情報管理規程に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。提出された個人情報に関しては、研修に伴う書類作成・発送に用い、この利用範囲を超えて個人情報を取り扱うことはいたしません。 提出された書類は、返却いたしません。 受講決定後に受講をキャンセルされる場合、電話で連絡の上 受講辞退届【様式10】を提出して下さい 		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">問合せ先</p>	◆研修申込みに関する事 Tel:03-6300-5584(研修係) ◆会員登録に関する事 Tel:03-6300-5452(会員係)		

令和6年度『認定看護管理者教育課程』受講者の感想

*ファーストレベル受講者の感想

まだ管理職になっていない状況で受講しましたが、役職の就前にしっかり理論などを学ぶことができ良かった。今後自分の働や経験ではなく、学んだこととして活用していくことができると思います。看護協会のファーストを選んでいろんな病院の方と意見交換した時間はとても有意義だった。

受講前は不安でいっぱいでしたが、今は受講させて頂き良かったと思っています。今を知ることが出来、今が大事な時であることもわかりました。職場から離れて学んだことで、組織の良さや恵まれた環境で勤務できていることも自覚出来ました。視野が広がり、学び続ける努力もしようと思いました。看護師の仕事に誇りに持てる、看護が大好きな自分を認めることが出来ました。ありがとうございました。

他にもファーストレベルを開催している機関はありますが、講師陣を見て改めて看護協会にしてよかったと思いました。集中した期間に対面で受講できたことは、病棟を離れてリフレッシュにもなりましたし、自部署を客観的に見る事ができる良い機会になりました。

自部署の狭い視野から、世界情勢など広い視点を養うことができました。様々な視点を養うことは、これからの看護師人生の道をあらためて考えるきっかけとなりました。有意義で楽しい研修をありがとうございました。

*セカンドレベル受講者の感想

管理者は孤独であるが、同じ悩みを持った共通言語のある仲間ができたことは一番の財産となった。グループワークや休憩中の情報交換から自施設・自部署を捉えることができた。セカンドレベルに参加でき自身の成長になったと実感しています。

学習内容や講師の先生方はとても魅力的でした。看護管理者として身につけるべき知識と、それを実行していくための技術、常に世の中の動きを察知して、自施設をあるべき姿を明確にし、それに近づけていくことの必要性を学ぶことができました。

グループダイナミクスの重要性を感じました。また統合実習も目的をもって実施できたので、地域連携の重要性を感じた。そして自部署で何が課題かじっくり考える良い機会でした。

有意義な時間を過ごすことができた。特に、規模も組織も担う役割も異なる方と、ゼロベースで話す機会がないため、様々な考え方や価値観を良い意味で知ることができたことや、何より対面式で受講やディスカッションができたことが良かった。

統合演習での実習は、患者が地域で暮らす生活者であることを認識できたことが非常に大きな学びとなりました。

社会情勢を通して、今看護界が変化しなければいけないこと、サードレベルに求められていることもよくわかりました。こんなにも多くの仲間が学ぼうとしていることに多くの刺激を受けました。

*サードレベル受講者の感想

講義形式で受講したく、貴施設を希望しました。仕事をしながら通う事は大変ではありましたが、直接講師の先生方の講義を拝聴出来て本当に良かったです。研修で出会えた仲間と話し、共にグループワークで学びあえた事も、貴重な経験でした。

講義の内容はどれも濃厚で、学びの多いものばかりでした。また、演習に関しては支援者やグループメンバーとディスカッションし意見をもらうことで自己客観視することができ、自身の思考の癖や課題を認識することができました。

新しい情報、知識をたくさんいただきました。一緒に学んだ皆さんとの繋がりもこれからの看護師人生に活かしていきたいと思っています。講義内容は素晴らしかったです。ありがとうございました。

よくある質問

Q1. 応募の段階で、令和7年度の入会手続きが完了していません。受講の際に会員価格になりますか？

A: 会員価格の適用は可能です。申込時は会員の手続き状況にかかわらず、すべて「会員でない方(認定看護管理者研修を申込される方)」からお申込みください。申込画面に入りましたら、「令和7年度の看護協会入会について」お伺いする設問がありますので該当項目に☑を入れてください。

令和7年3月末時点で次年度会員手続きが完了していない方には、自動的に「非会員価格」が適用されますので、何とぞご了承ください。ご不明な場合は、下記研修係までお問合せください。

※入会手続きが完了するまでに日数を要しますので、2月5日までに入会手続きしてください。

Q2. 他県の看護協会の会員ですが、東京都看護協会の会員が優先的に受講となりますか。

A: 小論文と応募書類により受講者を選考しますので、東京都看護協会の会員を優先するということはありません。

Q3. 看護師として5年以上の実務経験がありますが、現在の職場では3年しか勤務していません。看護師免許のコピーの提出では証明にはならないのでしょうか。

A: 看護の実務年数が5年以上あるということの証明が必要ですので、看護師免許のコピーでは代用できません。育児休暇や進学のための休職など、離職期間がある場合もありますので、前職・前々職等で受講要件証明書【様式9】に実務年数の証明をしてもらう必要があります。

Q4. 受講要件証明書【様式9】・勤務証明書【様式8】の施設長名は、看護部長名でも良いですか。

A: 受講要件に関わるため、施設の証明が必要になります。施設長名と施設の公印が必要です。

Q5. 申込期間中は、実務経験が4年10ヵ月です。4月になると、実務経験が5年になりますが、実務経験5年以上として応募できますか。

A: 受講時に実務年数が5年以上であれば、応募していただくことは可能です。ただし、受講前に退職される方もおりますので、受講前に実務年数が5年以上であることを証明するために、受講要件証明書【様式9】を再度提出していただく場合があります。

Q6. ファーストレベル・セカンドレベル修了証明書を紛失してしまいました。再発行は可能ですか。

A: 東京都看護協会のファーストレベル・セカンドレベルを修了している方の修了証明証の再発行は可能です。手続き方法は東京都看護協会のホームページを参照してください。なお、再発行には3週間程度の日数が必要になります。

受講料のお支払方法について

スマートフォン等での電子決済となります。受講が決定後、登録いただいたメールアドレスに「URL付きの受講料支払案内メール」をお送りいたします。メールの内容をよくご確認のうえ、お支払いいただきますようお願いいたします。

令和7年度 認定看護管理者教育課程 募集要項
ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル



公益社団法人
東京都看護協会
TOKYO NURSING ASSOCIATION

〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号

TEL (03) 6300-5584(研修係直通)

URL <https://www.tna.or.jp/>